



2025年10月2日  
東日本旅客鉄道株式会社  
日本航空株式会社

## 「はこビュン」と「JALCARGO」で仙台からシンガポールへお届け！ JR 東日本グループと JAL グループで連携した海外輸送を初めて実施します

- 東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:喜勢 陽一、以下「JR 東日本」と)と日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:鳥取 三津子、以下「JAL」)は、両社グループで連携した海外輸送トライアルを行います。
- JR 東日本の列車荷物輸送サービス「はこビュン」と JAL の国際線航空貨物輸送を組み合わせ、新幹線と航空機の速達性を活かし、地産品を仙台からシンガポールまで約 19 時間で輸送します。
- 今回は JR 東日本グループの仙台ターミナルビル株式会社が運営する「JR フルーツパーク仙台あらはま」で収穫した梨をシンガポールへ輸送し、同社が現地イベント「THE JAPAN RAIL FAIR 2025」で PR・販売を行います。
- 今回のトライアルをきっかけに、JR東日本グループとJALグループで連携し、日本各地の優れた地産品の海外輸出拡大を検討していきます。

### 1. 海外輸送の概要

JR 東日本グループと JAL グループは、「はこビュン」と「JALCARGO」を組み合わせ、地産品の新幹線・航空機の輸送、および通関手続きを両社で連携してワンストップで輸送するトライアルを実施します。本取り組みによって迅速かつシームレスな輸送を実現し、一般的に 24 時間を超える輸送時間を大幅に短縮し、約 19 時間で輸送します。

地域からの輸送に新幹線を活用することで、輸送時間の短縮とともに、トラックドライバーの労働力不足の解消や CO<sub>2</sub> 排出量削減などを目指すモーダルシフトの受け皿として新たな輸送の選択肢を拡大し、持続可能な物流の推進に寄与します。これにより、日本各地の優れた地産品の海外輸出を促進し、地域経済の活性化にも貢献していきます。

#### (1) 海外輸送の詳細

- ①実施日: 2025年10月7日(火)~8日(水)
- ②輸送列車: やまびこ 212 号 (仙台駅 10月7日 12:01 発、東京駅 14:16 着)
- ③輸送航空便: JAL35 便 (羽田空港 10月8日 00:05 発、シンガポールチャンギ国際空港 06:10 着※) ※シンガポール現地時間
- ④輸送品: 梨 (約 300 玉)

#### (2) 輸送イメージ



## 2. シンガポールでのPR・販売の概要

- (1) 日 時: 2025年10月9日(木)~11日(土)
- (2) 会 場: THE JAPAN RAIL FAIR 2025 (Guoco Tower Urban Park)
- (3) 出展者: 仙台ターミナルビル株式会社
- (4) P R: 梨の試食・販売、パンフレット配布等による仙台の魅力発信
- (5) 販 売: 梨 約300玉(「JRフルーツパーク仙台あらはま」で生産、収穫直前まで樹上で完熟させたもの。)

### <THE JAPAN RAIL FAIR について>

JR 東日本のシンガポール現地法人である JR East Business Development SEA Pte. Ltd.が、鉄道の日(10月14日)に合わせ、毎年開催するイベントです。

同社が運営する JAPAN RAIL CAFE 前の会場にて、日本各地の事業者、自治体等の皆さまと一緒に日本の旅や食に関わる情報を中心に発信、毎年多くのシンガポールのお客さまでにぎわいます。2025年は、10月9日(木)~11日(土)の3日間開催します。

<https://www.japanrailclub.com/tjrf2025/>



### <JAPAN RAIL CAFE シンガポールについて>

訪日旅行リピーターに「旬な日本」を発見、体感、共有していただくコミュニケーションの場です。2016年12月のオープン以来、日本各地の最新情報、日本への旅行サポートサービスをワンストップで提供しています。

<https://linktr.ee/japanrailcafe>

## 3. 今後の展開について

今回の輸送トライアルの結果を踏まえ、今後も両社で連携し、地産品の海外輸出拡大を検討します。

JR 東日本とJALは、東北地域の経済・社会・文化の発展を目指す共創プロジェクト(東北共創プロジェクト)を始動しており、これからも両社のアセットを活用した「共創企画」をはじめ、さまざまな連携を通じ、東北地域・日本全国の活性化・発展に貢献するとともに、その魅力を発信し、人流・商流の創出につなげていきます。